

## 第1回富田林市高齢者保健福祉計画等推進委員会の要点

### ① 提供体制の現状 往診・訪問診療の実施状況 (n=46)

|        | いずれも実施 | 往診のみ | 訪問診療のみ | いずれも行っていない |
|--------|--------|------|--------|------------|
| 機関数    | 24     | 12   | 1      | 9          |
| 割合 (%) | 52.2   | 26.1 | 2.2    | 19.6       |

### ② 往診/訪問診療受給者の現状 年齢階級・要介護度別人数 (n=277)

|        | 39歳以下 | 40-64歳 | 65-74歳 | 75-84歳 | 85-94歳 | 95歳以上 |
|--------|-------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 人数     | 4     | 17     | 36     | 94     | 103    | 23    |
| 割合 (%) | 1.4   | 6.1    | 13.0   | 33.9   | 37.2   | 8.3   |

○「85～94歳」が最も多く、次いで「75～84歳」の人数が多くなっている。

|        | 認定なし | 要支援1・2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 不明・無回答 |
|--------|------|--------|------|------|------|------|------|--------|
| 人数     | 13   | 16     | 38   | 49   | 47   | 41   | 53   | 20     |
| 割合 (%) | 4.7  | 5.8    | 13.7 | 17.7 | 17.0 | 14.8 | 19.1 | 7.2    |

○「要介護5」の割合が最も高く、「要介護3～5」が全体の半数以上(50.9%)を占めている。

### ③ 往診/訪問診療受給者の現状 主傷病別割合 (n=277)

○主傷病(複数回答)では、「認知症」が91人(32.9%)と最も多く、「その他」76人(27.4%)、「脳血管疾患」63人(22.7%)の順であった。

### ④ サービス受給者の現状 歯科医師・歯科衛生士へのニーズ

(「認定なし」(n=12,994)、「認定あり」(n=669))

- 「認定なし」の歯科医師や歯科衛生士へのニーズでは、「入れ歯調整」が2218人で最も多く、「歯磨き方法の指導」が571人、「入れ歯の手入れ方法の指導」が329人の順であった。
- 「認定あり」の歯科医師や歯科衛生士へのニーズでは、「入れ歯調整」が200人で最も多く、「入れ歯の手入れ方法の指導」32人、「歯磨き方法の指導」が29人の順であった。

### ⑤ サービス受給者の現状 薬剤師へのニーズ

(「認定なし」(n=12,994)、「認定あり」(n=669))

- 「認定なし」の薬剤師へのニーズでは、「薬の効能の説明」が1028人で最も多く、「体調や症状に関する相談」が970人、「健康食品のこと」が535人の順であった。
- 「認定あり」の薬剤師へのニーズでは、「薬の効能の説明」が107人で最も多く、「体調や症状に関する相談」77人、「薬の飲み方の指導」「薬の配達」がそれぞれ40人の順であった。

### ⑥ 将来(2025年)の推計 往診/訪問診療受給者数の推計

- 2025年の人口推計に、平成25年9月時点の往診/訪問診療受給割合を乗じたところ、往診/訪問診療受給者推計は394.7人(約1.4倍の増加)となった。
- 年齢階級別の往診/訪問診療受給者は、75歳以上の受給割合が高くなっているため、今後、75歳以上人口が急増することで、往診/訪問診療が必要な対象者の増加が予測される。

(資料 2-2) 認知症

|                              |           |
|------------------------------|-----------|
| 富田林市高齢者保健福祉計画等<br>推進委員会(第2回) | 資料<br>2-2 |
| 平成 26 年 8 月 28 日             |           |

## (2) 認知症

■認知症の方の家族介護の実態に関するアンケート調査（ご家族向け）

対 象：要介護者と同居している主介護者（回答数：119）

実 施 月：平成 26 年 3 月

■認知症の方の家族介護の実態に関するアンケート調査（ケアマネジャー向け）

対 象：市内及び近隣市町村の居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護、  
複合型サービス事業所に従事するケアマネジャー（回答数：134人）

実 施 月：平成 26 年 3 月

## 第1回富田林市高齢者保健福祉計画等推進委員会の要点

### ① 認知症者の現状と特性 認知症者の特性 (n = 4395)

| 自立            | ランクⅠ  | ランクⅡ          | ランクⅢ  | ランクⅣ | ランクⅤ |
|---------------|-------|---------------|-------|------|------|
| 886人          | 1009人 | 1202人         | 878人  | 353人 | 67人  |
| 20.2%         | 23.0% | 27.3%         | 20.0% | 8.0% | 1.5% |
| 1895人 (43.1%) |       | 2500人 (56.9%) |       |      |      |

※平成25年9月時点の介護保険サービス受給者

○認知症高齢者の日常生活自立度のランク別割合をみると「ランクⅡ」が最も多く、「ランクⅠ」の順であった。

○ランクⅡ以上の合計は2500人(56.9%)で、サービス受給者の半数を超えていた。

### ② 認知症者の出現率 性別年齢階級別にみた認知症者の出現率

○平成25年9月時点の65歳以上人口総数29,051人(男性12,675人、女性16,376人)のうち、認知症者総数2,961人(男性874人、女性2,087人)で市全体の認知症者の出現率は10.2%で、年齢階級別にみると、男女ともに80歳から出現率が急上昇している。

### ③ 認知症者の出現率 将来(2025年)の認知症者の推計

○2025年の65歳以上人口推計(男性14,017人、女性18,885人)に平成25年9月時点の認知症者の出現率を乗じたところ、認知症者数推計は「男性」1,302人(出現率9.29%)、「女性」3,129人(出現率16.57%)となった。

○認知症者の出現率が高い80歳以上人口が増加することで、2025年には市全体の認知症者の推計が4,431人となり、平成25年9月時点から約1.5倍の増加が予測される。

### ④ サービス提供体制 かかりつけ医の所属先 (n = 134)

○アンケート回答者の9割以上となる121人が認知症に対する診察を受けており、認知症を診ている、かかりつけ医の所属先では、「病院のみ」59人(44.0%)、「診療所のみ」47人(35.1%)、「病院と診療所」15人(11.2%)であった。

### ⑤ サービスの利用状況 介護保険サービスの利用状況 (n = 134)

○アンケート回答者の介護サービスの利用状況(複数回答)では、「通所介護」87人(64.9%)、「福祉用具」57人(42.5%)、「訪問介護」44人(32.8%)の順であった。

### ⑥ 家族の負担感の現状 最初に相談したところ (n = 120)

○要介護者の物忘れや行動面などの「最初の変化」に気づき、最初に相談したところ(複数回答)では、「家族・親族」69人(57.5%)で最も多く、「医師」54人(45.0%)、「ケアマネジャー」44人(36.7%)の順で回答が多くあった。

(資料 2-3) 介護予防と生活支援

|                              |           |
|------------------------------|-----------|
| 富田林市高齢者保健福祉計画等<br>推進委員会(第2回) | 資料<br>2-3 |
| 平成 26 年 8 月 28 日             |           |

### (3) 介護予防と生活支援

- ・「平成 25 年度二次予防事業対象者把握事業」
- ・「地域介護予防教室参加者延べ 257 名の基本チェックリストデータ」
- ・「富田林市ケアマネジャーアンケート調査」

## 第1回富田林市高齢者保健福祉計画等推進委員会の要点

「二次予防と要支援者の生活支援サービスに対するニーズ」

### ①富田林におけるこれまでの取組み

|                    |                            |          |
|--------------------|----------------------------|----------|
| 平成 25 年度はつらつ度チェック票 | 対 象 者                      | 23,180 人 |
|                    | 有 効 回 答                    | 14,277 人 |
|                    | 二次予防事業対象者                  | 4,695 人  |
| 地域介護予防教室           | 開 催 箇 所<br>(平成 26 年 6 月現在) | 21 ヲ所    |
|                    | 延 参 加 者<br>(平成 25 年度参加者)   | 2,783 人  |

### ②25年度はつらつ度チェック票より (n=14,277)

- ・二次予防事業対象者の数 4,695 人 (男性 1,946 人、女性 2,749 人)  
女性が男性より多く、第三圏域が少ない。
- ・閉じこもりリスク 640 人 (男性 277 人、女性 363 人)  
女性が男性より多く、第三圏域が少ない。

### ③要支援者のサービス利用人数と将来推計

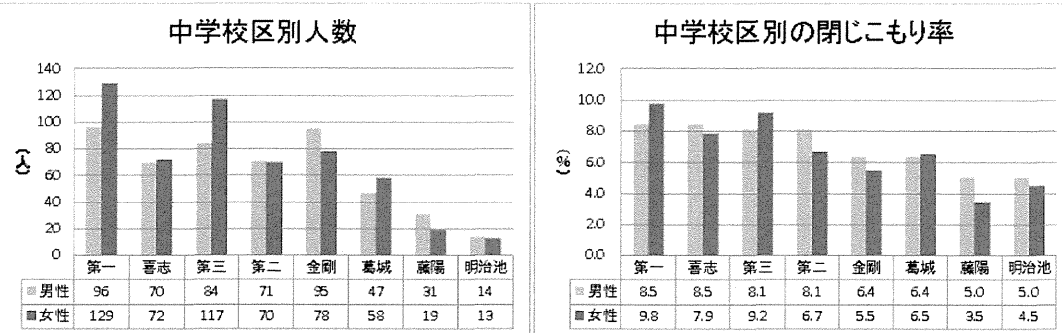
- ・要 支 援 者 数 平成 26 年 1,576 人→平成 37 年 3,058 人 1.65 倍
- ・要支援者のサービス利用 男性より女性が多い
- ・利 用 サ ー ビ ス 1 訪問介護 2 通所介護 の順に多い

### ④日常生活の困りごとと参加意欲

- ・65 歳以上で認定のない方の困りごと (有効回答 13,491 人)  
1 位 重い荷物の運搬 2 位 困りごとなし 3 位 電球交換
- ・参加したい教室やプログラム  
(有効回答 認定なし : 13,310 人、要支援 1 : 275 人 要支援 2 : 301 人)  
1 位 特になし 2 位 歌・カラオケ 3 位 書道・習字

## 2.閉じこもり 1)中学校区別の人数・閉じこもり率

- チェックリスト項目「週に1回以上は外出していますか？」で「いいえ」と答えた人の人数と割合。
- 全体では14,194人中1,064人で7.5%。内訳を性別で見ると男性は6,491人中508人で7.8%、女性は7,703人中556人で7.2%
- 第一、喜志、第三中学校区では男女ともに市域全体の閉じこもり率を上回っている。
- 第三圏域の金剛、葛城、藤陽、明治池中学校区ではすべての校區で市域全体の閉じこもり率を下回っている。



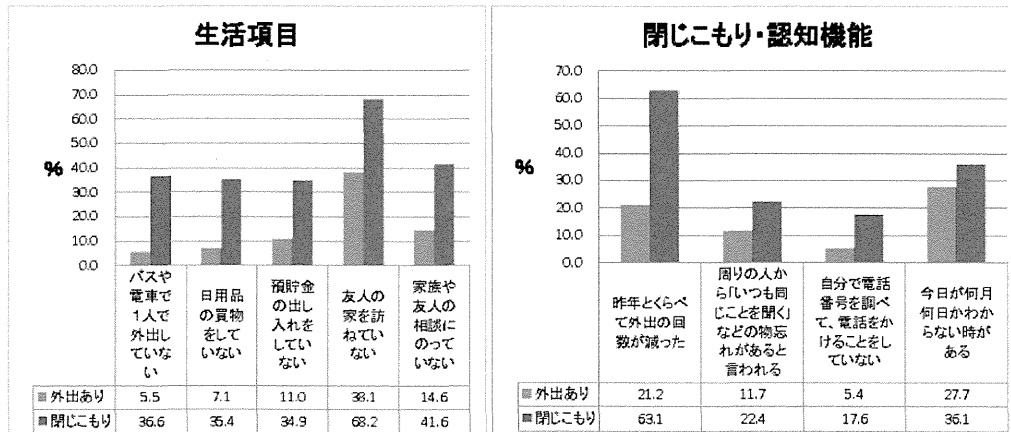
「平成25年度二次予防事業対象者把握事業」より 対象者23,180名 有効回答14,277名

4

## 2.閉じこもり 2)チェックリスト項目ごとの比較 (生活項目)

- 生活項目で「外出あり」と「閉じこもり」の人でもっともリスク出現率の差が大きかったのは「バスや電車で外出していない」の項目で31.1ポイントの開きがあった。
- 閉じこもり・認知機能項目では「昨年とくらべて外出の回数が減った」の差が最も大きく41.9ポイントの開きがあったが、他の項目でも二倍以上の開きがみられた。

チェックリスト「週に1回以上は外出していますか？」の質問項目に「いいえ」と答えた人にその他の項目を掛け合わせ閉じこもりの人の現状を分析。



「平成25年度二次予防事業対象者把握事業」より 対象者23,180名 有効回答14,277名

5

(資料 2-4) 住まい

|                                   |
|-----------------------------------|
| (調査方法)                            |
| 「一般高齢者」                           |
| ■ 高齢者の住まいと生活支援のあり方に関するアンケート調査     |
| ・ 対象：65歳以上の要介護認定のない人（回答数：14,723人） |
| ・ 実施月：平成26年2月                     |
| 「要介護者」                            |
| ■ 高齢者の生活と住まいに関するアンケート調査           |
| ・ 対象：65歳以上の在宅で要介護認定のある人 → 「要介護者」  |
| ※約4900人から1,000人抽出（回答数：669人）       |
| ・ 実施月：平成26年4月                     |

第1 回富田林市高齢者保健福祉計画等推進委員会の要点

① 住宅の種類（一般高齢者）

|        |       |
|--------|-------|
| 一戸建て   | 66.1% |
| UR賃貸住宅 | 11.1% |
| 分譲住宅   | 9.2%  |
| 府・市営住宅 | 6.9%  |
| 民間賃貸住宅 | 3.5%  |

高齢者の住まいとして、一戸建てが一番多く、ついでUR賃貸住宅が多い

② 住宅の種類別にみた75歳以上の高齢者の割合（一般高齢者）

|        |       |
|--------|-------|
| 高齢者住宅  | 100%  |
| 市・府営住宅 | 48.0% |
| UR賃貸住宅 | 39.4% |

75歳以上の後期高齢者の割合が高いのは、高齢者住宅や府・市営住宅、UR賃貸住宅

③ 住宅の種類別にみた独居者の割合（一般高齢者）

|        |       |
|--------|-------|
| 高齢者住宅  | 71.4% |
| 民間賃貸住宅 | 37.2% |
| 市・府営住宅 | 35.1% |
| UR賃貸住宅 | 26.4% |
| 分譲住宅   | 16.8% |
| 一戸建て   | 11.3% |

独居者の割合は一戸建てや分譲住宅よりも、賃貸住宅の方が高くなっている。

④ 住み替えに対する意向

- ・住み替えを「非常に～少し考えている」割合

|       |       |
|-------|-------|
| 一般高齢者 | 12.2% |
| 要介護者  | 15.9% |

若干ではあるが「要介護者」の方が住み替え意向が高い。

⑤ 住み替えに対する意向と年齢／世帯構成との関係(一般高齢者)

- ・年齢に関わらず、約1割の方が住み替えを考えている。
- ・住み替え意向「あり」の割合

|       |       |
|-------|-------|
| 独居者   | 17.2% |
| 夫婦世帯  | 12.2% |
| その他世帯 | 9.5%  |

住み替えを考えている人の割合が最も高い世帯構成は「独居者」である。

⑥ 住み替えを考えている理由

- ・住み替えを考えている理由として多い順は以下のとおり(一般高齢者)

|     |              |
|-----|--------------|
| 第1位 | 体力の衰えを感じるから  |
| 第2位 | 健康状態に不安があるから |
| 第3位 | 家屋が老朽化したから   |

(要介護者)

|     |               |
|-----|---------------|
| 第1位 | 体力の衰えを感じるから   |
| 第2位 | 健康状態に不安があるから  |
| 第3位 | 一人暮らしに不安があるから |

住み替えを考えている理由として両者ともに「体力の衰えを感じるから」や「健康状態に不安があるから」のように身体的な理由を選択した

⑦ 住み替え先

- ・住み替え先として希望の多い順は以下のとおり(一般高齢者)

|     |               |
|-----|---------------|
| 第1位 | その他           |
| 第2位 | サービス付き高齢者向け住宅 |
| 第3位 | ケアハウス・軽費ホーム   |

(要介護者)

|     |               |
|-----|---------------|
| 第1位 | サービス付き高齢者向け住宅 |
| 第2位 | ケアハウス・軽費ホーム   |
| 第3位 | 有料老人ホーム       |

一般高齢者の住み替え先は「その他」、「サービス付き高齢者向け住宅」、「ケアハウス・軽費ホーム」の順に多く、要介護者の住み替え先は「サービス付き高齢者向け住宅」、「ケアハウス・軽費ホーム」、「有料老人ホーム」の順に多い。



⑧ 住み替えの条件

・住み替えの条件として希望の多い順は以下のとおり

(一般高齢者)

|     |              |
|-----|--------------|
| 第1位 | 医療機関に近い      |
| 第2位 | スーパーやコンビニに近い |
| 第3位 | 駅やバス停に近い     |

(要介護者)

|     |              |
|-----|--------------|
| 第1位 | 医療機関に近い      |
| 第2位 | 駅やバス停に近い     |
| 第3位 | スーパーやコンビニに近い |

住み替えを考えている人のうち、最も希望の多かった条件は両者とも「医療機関に近い」であった。

次いで多かったのは、一般高齢者は「スーパーやコンビニに近い」で、要介護者は「駅

1. 高齢者の住まいの種類

①サービス付き高齢者向け住宅

サービス付き高齢者向け住宅とは、民間事業者などによって運営され、「高齢者の居住の安定確保に関する法律」(高齢者住まい法)の基準により、住宅としての居室の広さや設備、バリアフリーといったハード面の条件を備えるとともに、ケアの専門家による安否確認や生活相談サービスを提供することなどにより、高齢者が安心して暮らすことができる環境を整え、都道府県等に登録された賃貸住宅です。主に自立あるいは軽度の要介護状態の高齢者を受け入れています。介護保険サービスは別途契約となります。

富田林市内のサービス付き高齢者向け住宅 (※)

| 住宅名                              | 所在地                | 戸数 | 提供サービス       |    |    |    |      |
|----------------------------------|--------------------|----|--------------|----|----|----|------|
|                                  |                    |    | 状況把握<br>生活相談 | 食事 | 介護 | 家事 | 健康管理 |
| フォーライフガーデン昭和町                    | 昭和町2 -1 -2<br>0    | 21 | ○            | ○  | —  | —  | —    |
| ビックファミリー<br>サービス付き高齢者向け<br>住宅    | 藤沢台6 -1 4 -<br>2 8 | 8  | ○            | ○  | —  | —  | —    |
| 「サービス付き高齢者向け<br>住宅」<br>ラ・フォート向陽台 | 向陽台2 -2 -7         | 30 | ○            | ○  | —  | —  | —    |
| シニアハウジング西板持                      | 西板持町7 -1 -<br>2 5  | 30 | ○            | ○  | —  | —  | —    |

※平成26年7月31日現在、営業開始しているサービス付き高齢者向け住宅

## ②有料老人ホーム

有料老人ホームは、民間事業者によって運営される介護施設であり、高齢者が暮らしやすいように配慮した「住まい」に、食事の提供、介護の提供、洗濯・掃除等の家事、健康管理などの日常生活を送るうえで必要な「サービス」が付いた「住まい」です。介護保険サービスは別途契約となります。

有料老人ホームは、介護サービスの提供方法の違いにより、次の3つの類型（タイプ）に分けられます。

介護付有料老人ホーム・・・ 介護や食事等のサービスが付いた高齢者向けの居住施設です。介護保険制度による介護サービスは、施設自らが介護保険の事業者（特定施設入所者生活介護）としての指定を受け、提供します。介護が必要になった場合、施設自らが提供する介護サービス等を利用しながら当該施設の居室での生活を継続することが可能です。

住宅型有料老人ホーム・・・ 食事等のサービスが付いた高齢者向けの居住施設です。施設自らは介護保険制度による介護サービスを提供しません。介護が必要になった場合、訪問介護等の在宅サービスを利用しながら当該施設の居室での生活を継続することが可能です。

健康型有料老人ホーム・・・ 食事等のサービスが付いた高齢者向けの居住施設です。介護が必要となった場合、契約を解除し退居することが前提とされています。

### 富田林市内の有料老人ホーム

| 施設名                          | 所在地         | 入居定員 | 施設の種別 | 権利形態  |
|------------------------------|-------------|------|-------|-------|
| ベストライフ富田林                    | 寺池台5-8-5    | 88   | 住宅型   | 利用権方式 |
| 有料老人ホーム青空309                 | 西板持町5-445-1 | 17   | 住宅型   | 利用権方式 |
| 有料老人ホーム住宅型<br>富田林・やすらぎの里 凜花園 | 若松町1-10-7   | 10   | 住宅型   | 利用権方式 |

③軽費老人ホーム（ケアハウス）

軽費老人ホーム（ケアハウス）は、60歳以上（夫婦の場合、どちらか一方が60歳以上）かつ、自炊ができない程度の身体機能の低下等が認められ、又は高齢等のため独立して生活するには不安があると認められる高齢者であって、家族による援助を受けることが困難な人が比較的 low 額な利用料で契約、入所できる施設です。介護保険サービスは別途契約となります。

富田林市の軽費老人ホーム（ケアハウス）

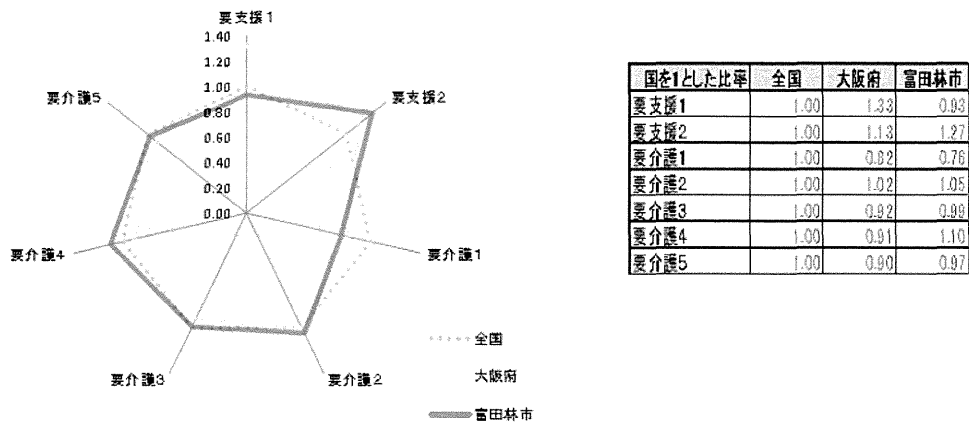
| 施設名      | 所在地                | 入所定員 |
|----------|--------------------|------|
| ケアハウス春の家 | 佐備2 5 9 7 番地の<br>5 | 5 0  |
| ケアハウスゆう  | 新家2 -1 4 -5 0      | 5 0  |

(資料3)

## 1. 要介護認定者の割合比較から見てきたもの

- 要支援2の割合が全国・大阪府のいずれと比較してもかなり高い。(要支援1、要介護1は低い傾向)
- 全国に比べ大阪府では要支援1が高い傾向があるが、本市は逆に低い傾向がある。
- 全国と比較して要介護4が高く、大阪府より要介護3～5の重度者が高い。

要介護度別認定者の割合(全国を1とした場合の比率)H25/10

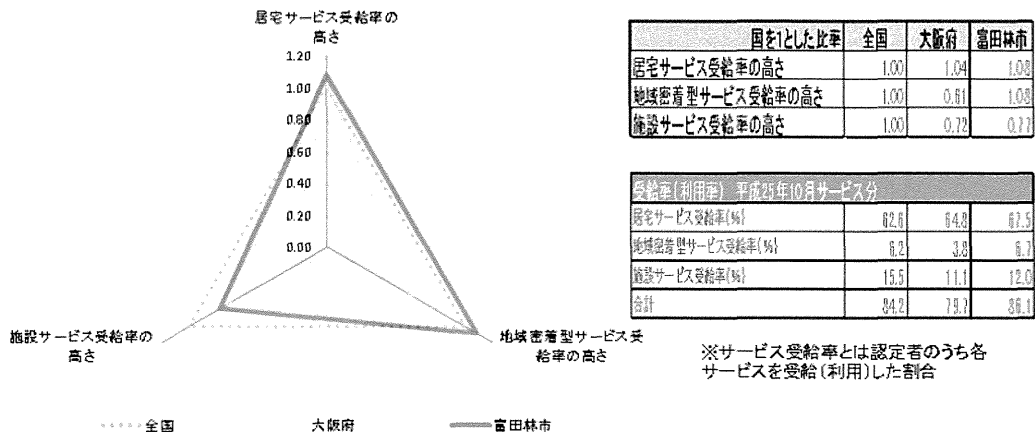


サーベイ・リサーチセンターによる平成25年10月給付データ分析より<sup>1</sup>

## 2. サービス(3種)別の受給率比較から見てきたもの

- 全国と比べて、施設サービス受給率が低く、居宅サービス・地域密着型サービス受給率が高い
- 大阪府と比較して、地域密着型サービス受給率が高い。
- 受給率は全国・大阪府に比べて、高い。

サービス(3種)別の受給率比較(全国を1とした場合の比較)H25/10



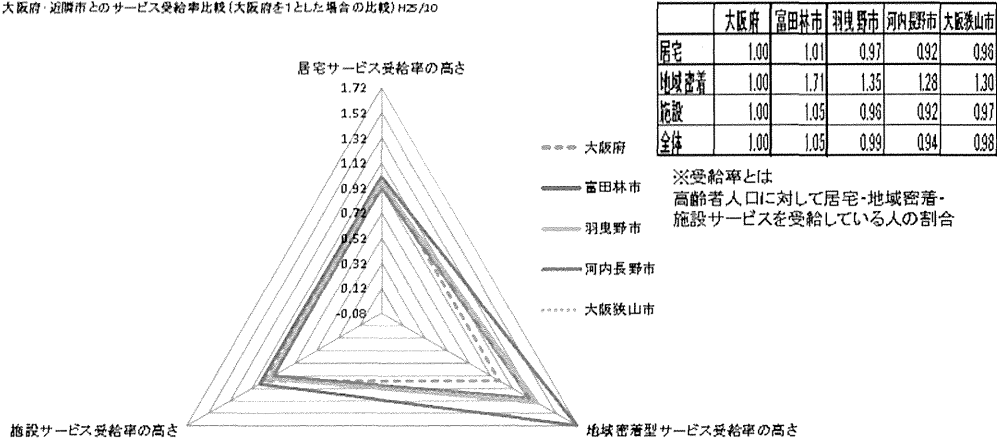
※サービス受給率とは認定者のうち各サービスを受給(利用)した割合

サーベイ・リサーチセンターによる平成25年10月給付データ分析より<sup>2</sup>

### 3.府下のサービス(3種)別の受給率比較から見てきたもの

○サービスの受給率が大阪府・近隣市と比べて高い。  
 ○居宅・地域密着・施設、3種のすべてにおいて、大阪府・近隣市よりも、受給率が高い。

大阪府・近隣市とのサービス受給率比較(大阪府を1とした場合の比較)H25/A0

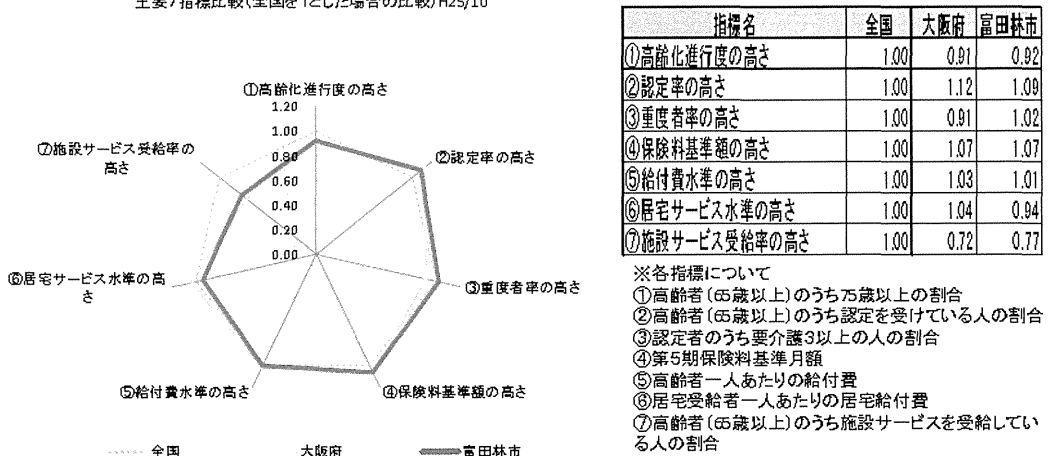


サーベイ・リサーチセンターによる平成25年10月給付データ分析より<sup>3</sup>

### 4.主要7指標による比較から見てきたもの

○施設サービス受給率は大阪府並みであるものの、全国と比べると低さが目立つ、また、居宅サービス水準も低い。  
 ○全国と比べると高齢化進行度は低いものの、認定率が高く、大阪府と比較すると重度者率が高い。  
 ○保険料基準額は全国に比べて高く、大阪府と同水準。

主要7指標比較(全国を1とした場合の比較)H25/10



サーベイ・リサーチセンターによる平成25年10月給付データ分析より<sup>4</sup>

## 5.基盤整備の現状 市内の施設(特養・老健)

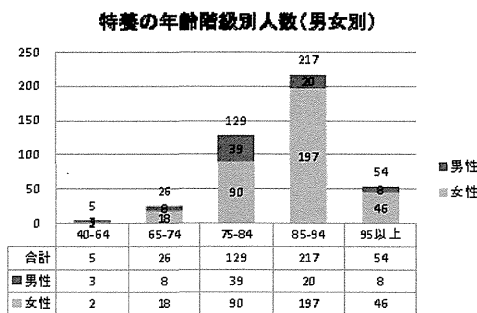
- 市内に介護老人福祉施設(特養)7か所があります。
- 市内に介護老人保健施設(老健)2か所があります。
- 特養の入所定員は498人、老健の入所定員は193人です。
- 平成26年4月1日現在、富田林市民で市内の特養への入所希望者のうち入所の必要性が高い人は81人です。

|                    | 事業所名               | 郵便番号        | 所在地              | 連絡先               | 入所定員         |
|--------------------|--------------------|-------------|------------------|-------------------|--------------|
| 介護老人施設             | 特別養護老人ホーム オレンジ荘    | 684-0063    | 富田林市 大字龍泉877番地78 | 0721-33-0911      | 60           |
|                    | 特別養護老人ホーム 喜志菊水苑    | 684-0006    | 富田林市 喜志町三丁目1番33号 | 0721-26-0066      | 100          |
|                    | 特別養護老人ホーム 緑蔭荘      | 684-0069    | 富田林市 緑蔭東三丁目4番18号 | 0721-26-1187      | 100          |
|                    | 富田林特別養護老人ホーム 富美ヶ丘荘 | 684-0082    | 富田林市 向陽台一丁目2番22号 | 0721-29-1161      | 100          |
|                    | かななびのさと            | 684-0064    | 甘南備216番地         | 0721-34-2206      | 80           |
|                    | 介護老人保健施設           | 介護老人保健施設 きし | 684-0028         | 富田林市 中野町西二丁目273番地 | 0721-23-0201 |
| 富田林市 介護老人保健施設      |                    | 684-0082    | 富田林市 向陽台一丁目4番30号 | 0721-28-8666      | 73           |
| 特別養護老人ホーム(小規模特養施設) | 寿里苑 夢の杜            | 684-0072    | 高辺台二丁目8番12号      | 0721-40-0666      | 29           |
|                    | 古えざり               | 684-0079    | 五軒家一丁目25番10号     | 072-366-6200      | 29           |

平成26年7月1日現在 <sup>5</sup>

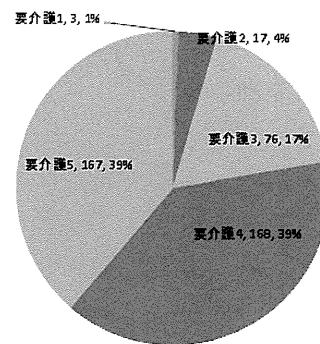
## 6.基盤整備の現状 施設入所者の状況(特養)

- 年齢階級別に見ると、85-94歳が217人と最も多くなっています。
- 全体のうち、約82%が女性です。
- 介護度別構成比を見ると、要介護4と5が同じく39%で一番多く、要介護3～5を合わせると95%になります。



|    | 計   | %  |
|----|-----|----|
| 男性 | 78  | 18 |
| 女性 | 353 | 82 |

特養の介護度別構成比

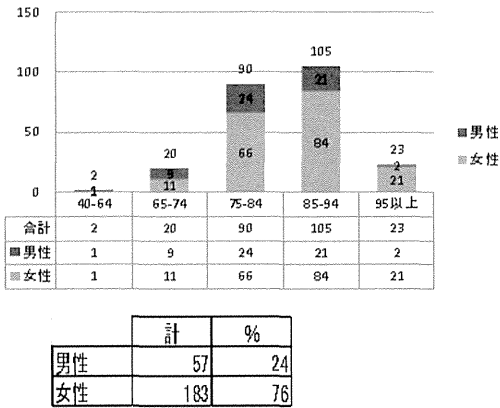


「介護保険事業状況報告」より作成 <sup>6</sup>

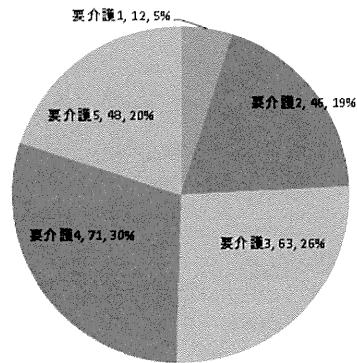
## 7. 基盤整備の現状 施設入所者の状況(老健)

- 年齢階級別に見ると、85-94歳が105人、次に75-84歳が90人となっています。特養と比べると75-84歳割合が高い。
- 全体の約76%が女性です。
- 介護度別構成比を見ると、要介護4が30%で一番多く、要介護3～5で76%を占めています。特養と比べると軽度要介護者の占める率が高い。

老健の年齢階級別人数(男女別)



老健の介護度別構成比

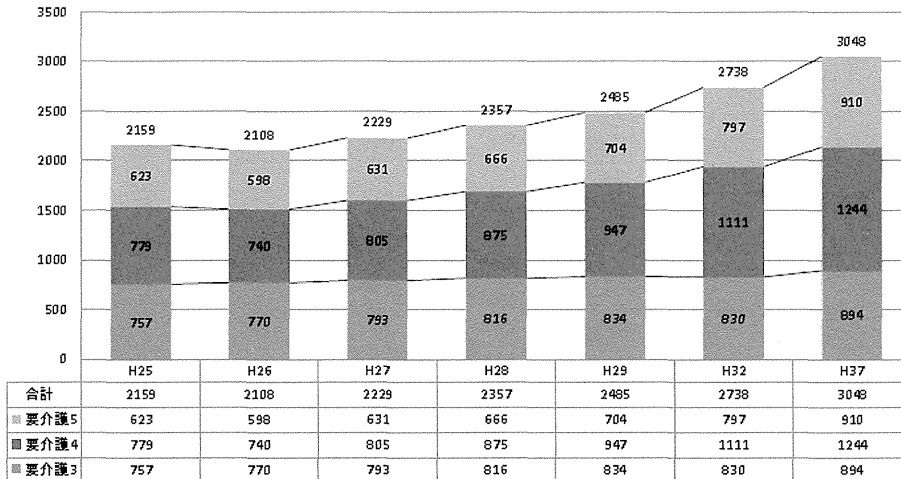


「介護保険事業状況報告」より作成<sup>7</sup>

## 8. 基盤整備の現状 重度認定者の将来推計

- 現在2,159人の要介護3～5の認定者が平成37年には1.41倍の3,048人になると推計される
- 介護度別に増加割合を見ると、要介護3が1.18倍、要介護4が1.59倍、要介護5が1.46倍になる見込みです。

要介護3～5認定者の将来推計



介護事業報告H25年9月末及び厚生労働省のワークシートを用いて推計（H21～H25各9月末、H26年4月末の認定者数をH24～H25年の実績の伸び率で推計）

8

## 2) 第3回目(2014年10月22日)

次頁の議事次第に従って、委員会を遂行した。

### (1) 市が準備した資料の内容

事前打合せを経て、最終的に市が準備した資料は、以下の通り。

資料1：第2回推進委員会 質問への回答

資料2：富田林市における高齢化等の現状と推計

資料3：介護サービス等の基盤整備の方向性

資料4：新しい介護予防・日常生活支援総合事業の方向性

資料5：在宅医療・介護連携の方向性

資料6：認知症施策の方向性

資料7：地域ケア会議の方向性

資料8：地域包括支援センターの機能強化の方向性

資料9：日常生活圏域の設定

資料10：高齢者保健福祉計画及び第6期介護保険事業計画の基本理念と  
施策体系

資料11：各委員の意見まとめ



### 第3回 富田林市高齢者保健福祉計画等推進委員会

平成26年10月22日(水)

13:30～16:10

富田林市消防署4階視聴覚室

報告 第2回推進委員会での質問について・・・資料1

1. 富田林市における高齢化等の現状と推計・・・資料2
2. 介護サービス等の基盤整備の方向性について・・・資料3
3. 個別テーマごとの方向性について
  - ① 新しい介護予防・日常生活支援総合事業・・・資料4
  - ② 在宅医療・介護連携・・・資料5
  - ③ 認知症施策・・・資料6
  - ④ 地域ケア会議・・・資料7
  - ⑤ 地域包括支援センターの機能強化・・・資料8
4. 日常生活圏域の設定について・・・資料9
5. 第6期計画の基本理念と施策体系について・・・資料10
6. その他

(資料)

1. 第2回推進委員会 質問への回答
2. 富田林市における高齢化等の現状と推計
3. 介護サービス等の基盤整備の方向性
4. 新しい介護予防・日常生活支援総合事業の方向性
5. 在宅医療・介護連携の方向性
6. 認知症施策の方向性
7. 地域ケア会議の方向性
8. 地域包括支援センターの機能強化の方向性
9. 日常生活圏域の設定
10. 高齢者保健福祉計画及び第6期介護保険事業計画の基本理念と施策体系
11. 各委員の意見まとめ

|                              |           |
|------------------------------|-----------|
| 富田林市高齢者保健福祉<br>計画等推進委員会(第3回) | 資料<br>4-3 |
| 平成26年10月22日                  |           |

## (5) 介護予防事業

### 3、二次予防と要支援者の生活支援サービスに対するニーズ

「二次予防」

要介護状態になるリスクが高い人に対して要介護状態等となることを予防する

「二次予防対象者」

65歳以上の人のうち要介護者又は要支援者以外の人で、要介護状態等となるおそれの高い状態にあるとみとめられるもの

#### 1、一般介護予防事業

1)現在の地域介護予防教室利用者の状況

- H21年度より介護予防サポーターが各地域に出向き、継続的に開催される地域介護予防教室で指導する。
- H26年8月現在行われている地域介護予防教室で基本チェックリストを実施した参加者延べ257名分の現状を分析。

#### 地域介護予防教室の開催

介護予防サポーターが各教室に月1～2回出向き、継続的に開催する地域介護予防教室で指導。

開催教室数 21カ所(平成26年6月現在)

延べ参加人数 平成24年度 2,206人

平成25年度 2,783人

#### 教室参加者状況

教室参加者の性別は男性(16%)、女性(84%)で女性の方が多い。

教室参加者年齢構成は70-74の年齢階層が35.7%で最も多い。

「第1回 富田林市高齢者保健福祉計画等推進委員会資料」

「第2回 富田林市高齢者保健福祉計画等推進委員会資料」より

## 1、一般介護予防事業

2)現在の地域介護予防教室での問題点

○現在の地域で展開している介護予防教室の課題。

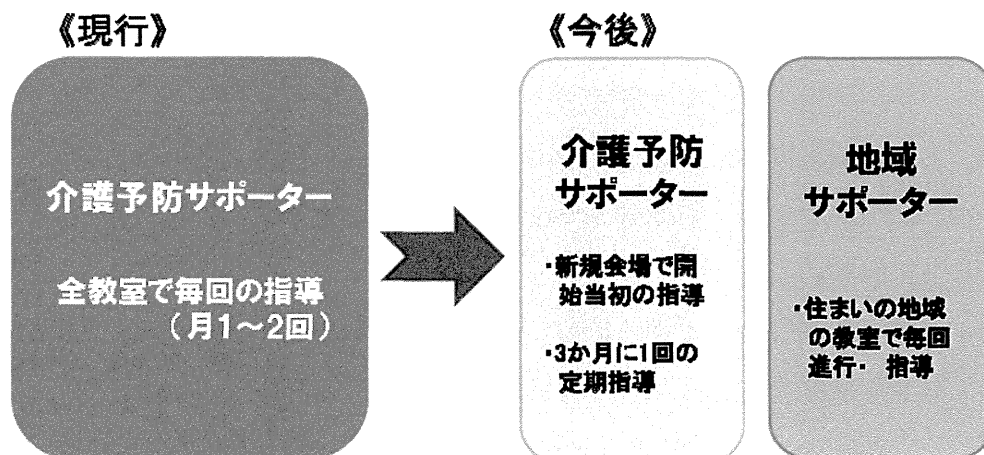
- ①現在の介護予防サポーターの体制では教室開催の要望に対応しきれていない。
- ②教室参加者の効果検証が行えていない
- ③開催箇所を増やせない。→ 参加者数を増やせない
- ④開催回数を増やせない。→ 月1回では介護予防効果が上がらない。

3

## 1、一般介護予防事業

3)第6期計画での方向性

○27年度以降の地域介護予防教室の体制を変更  
○現在の「介護予防サポーター」に加え、各地域の教室の進行を補助するボランティアである「地域サポーター」を養成する。



4

## 1、一般介護予防事業

### 4)第6期期間の計画

- 介護予防サポーター・地域サポーターによる体制により、教室の開催箇所、参加者数、開催頻度の増加を目指す。
- 介護予防教室参加者の分析を行うことにより、効果的な事業展開を行う。

- ①現在の介護予防サポーターによる指導の体制に加え、各教室ごとに指導にあたるボランティアである「地域サポーター」を各教室に3名、養成。  
⇒ 3年間で108名を養成
- ②介護予防の効果検証を行う  
⇒ 各教室での基本チェックリスト・体力測定の実施を行う
- ③教室開催箇所の増加 → 延べ参加人数の増加  
⇒ 現在の21教室 → 36教室
- ④開催頻度の増加 → 介護予防効果をあげる  
⇒ 全教室の開催頻度を月2回以上とする
- ⑤個別機能に応じた新たなプログラムの検討等、介護予防の取組みの機能強化を図る。